

# 町(内)会活動・運営に関する アンケート

—調査結果報告書—

平成27年10月  
青森市 市民政策部 市民協働推進課

---

# 目次

---

I	アンケートの概要	1 ページ
II	調査結果	
	1 町(内)会で行っている活動について	2 ページ
	2 日頃感じている課題について	5 ページ
	3 役員等の担い手確保の取組みについて	8 ページ
	4 町(内)会への加入促進の取組みについて	10 ページ
	5 行事への参加者の確保について	12 ページ
	6 市の依頼による負担感について	14 ページ
	7 空き家の利活用について	16 ページ
	8 市からの支援について	19 ページ
	9 高齢者を対象とした町(内)会活動について	23 ページ
	10 子ども会等の活動について	26 ページ



# アンケートの概要

## 1 調査目的

町(内)会活動の実情や地域課題等に関するご意見をお寄せいただき、今後の地域コミュニティ関連施策への反映や、町(内)会運営における情報共有を目的として、このアンケートを実施しました。

## 2 アンケート対象

青森市内全 410 町(内)会（青森地区 373 町会、浪岡地区 37 町内会）

## 3 アンケート期間

平成 27 年 6 月 19 日～平成 27 年 7 月 12 日

## 4 回答結果

回答数 340 件、回答率 82.9%

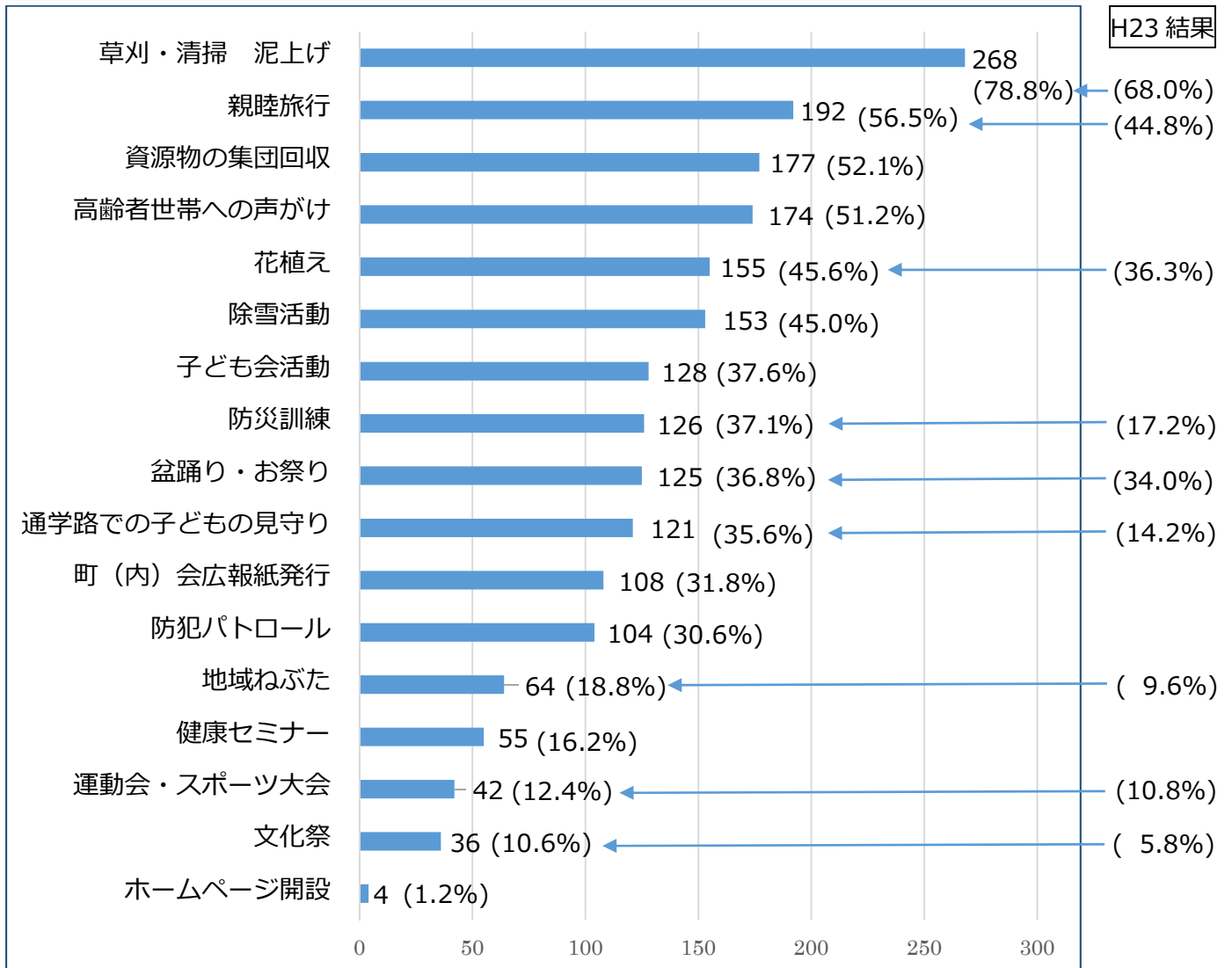
	計	東部	西部	南部	北部	中部	浪岡	無記名
町会数	<b>410</b>	94	89	102	31	57	37	—
回答数	<b>340</b>	73	70	88	27	44	31	7
回答率	<b>82.9%</b>	77.7%	78.7%	86.3%	87.1%	77.2%	83.8%	—

## 5 集計の結果についての留意点

- 次ページ以降に標記している回答比率（全て百分率(%)で表示）は、全体の回答数（340 件）を分母に算出し、小数点第二位を四捨五入して表示しています。
- 各設問における集計数値は、無記名の 7 町(内)会からの回答を含めた値です。
- その他自由記載欄は、原則、実際に記入されていた内容をそのまま掲載しています。

# 1 町(内)会で行っている活動について

問 現在、町(内)会で行っている活動について、あてはまるもの全ての番号に○をつけてください。



## ○調査結果

平成23年度に実施したアンケートで上位であった「草刈・清掃 泥上げ」と「親睦旅行」は今回も上位の結果となり、現在も多くの町(内)会で活動が行われています。

「防災訓練」(H23: 17.7%⇒今回 37.1%)、「通学路での子どもの見守り」(H23: 14.0%⇒今回 35.6%)については、いずれも前回調査の2倍以上に増加しており、地域の安全安心に関わる活動が多くなっている傾向にあります。

## ○その他自由記載欄

### 安全・安心活動

- ・小学校の下校時、送り届けボランティア。(小学校1、2年生対象)
- ・町民の命を守る「安心カード」を平成22年に作成し、評価を得ている。現在も希望者に配布している。
- ・夜間パトロール反省慰労
- ・交通安全教室
- ・交通安全のぼり旗立て
- ・交通安全パレード

### 芸術・文化活動

- ・夏休み期間中の青少年育成の一環として「こども絵画」を募集し、地元の金融機関のロビーで展示会を開催している。
- ・町内作品展、町内作品のための絵画教室と手芸教室、趣味の作品展、お餅の美味しい食べ方等、婦人部で企画、実施している。
- ・女性の会…町会長宅にて町内の女性を対象にペーパークラフト、編み物、縫い物などの作品を仕上げたり、雑巾を縫い持ち寄り、学校に寄附。
- ・小学生を対象として三内丸山遺跡を意識した体験学習「勾玉づくり・ミニ土偶づくり」
- ・縄文遺跡見学会

### 高齢者支援活動

- ・H26年度から1人暮らし昼食懇談会を始めた。
- ・1人暮らし高齢者の食事会
- ・75歳以上の皆様の集い(食事会)
- ・敬老事業(75歳以上の方々全員に弁当を配布 - 約90名位)をしている。
- ・町内バレー教室にて町内の方を対象に体力づくり、転倒防止を目的に毎月2回
- ・町内での「敬老の日」に「記念品+現金2000円」をプレゼントしている。(75歳以上を対象に)

### ごみ対策

- ・ゴミ問題対策教室

## ラジオ体操

- 夏休みラジオ体操
- 子供と長寿会の皆様とラジオ体操を続けています。最後の日は、昼近くからバーベキューをして楽しんでおります。

## スポーツ

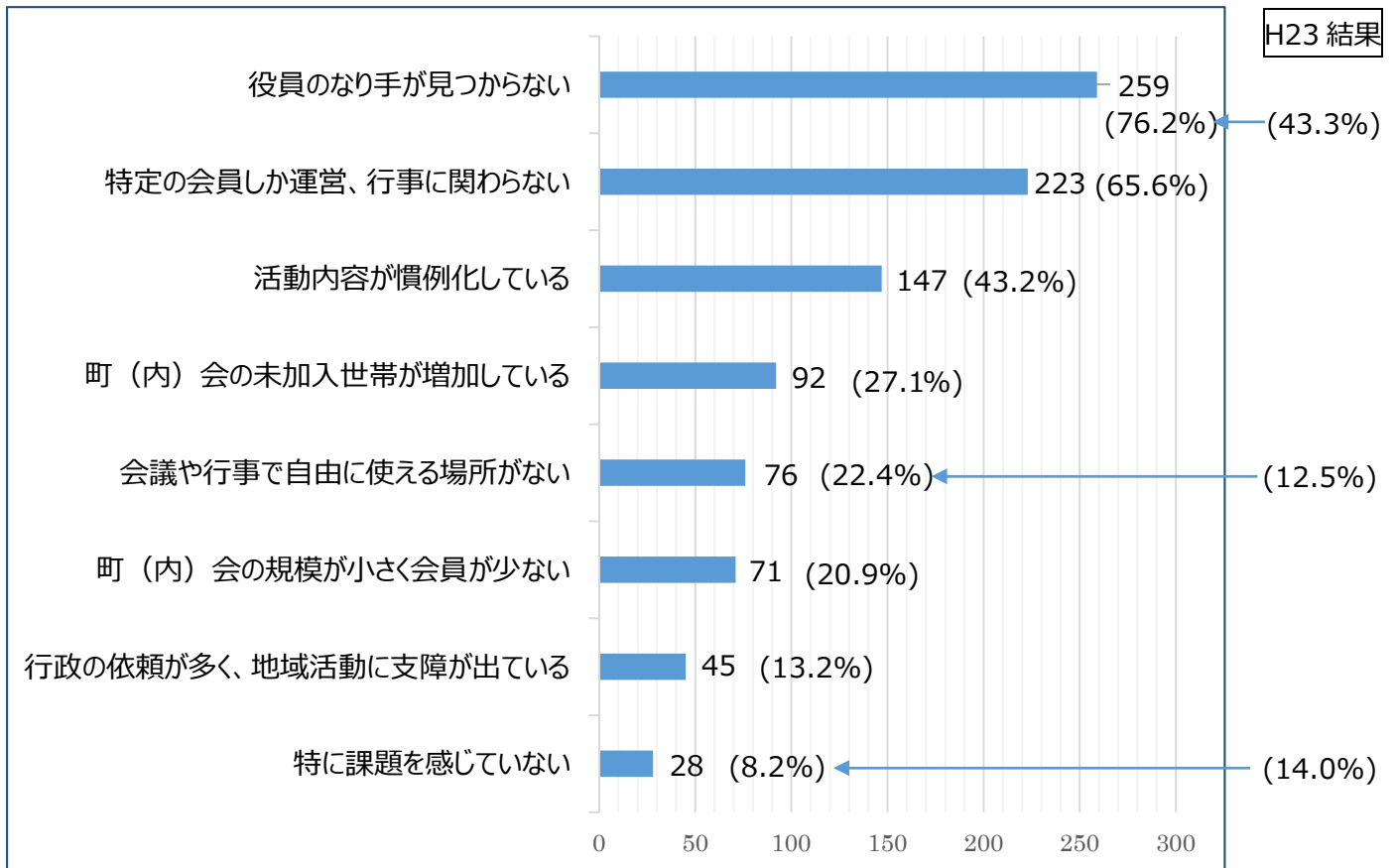
- 町会ゴルフクラブを作り、年5回大会（コンペ）を開催しております。そのあとも表彰式で一杯飲みますと町会員同士の絆が大変強くなり、今まで夏祭りに手伝いしなかった人が大半手伝いするようになり、大変助かっております。
- スポーツは町内会独自では開催していないが、連合会主催の大会に参加。（参加可能な競技だけだが）

## 親睦会

- チビッコ夏祭り、餅つき大会
- 子供夏祭り、クリスマス、餅つき大会
- 新1年生の入学祝会（祝品として商品券3千円分）を集会所にて開催、クイズやゲームを楽しんでいます。
- 女性部による月1回の井戸端会議（情報交換）行っています。
- 三世代交流の「昔の正月あそび」

## 2 日頃感じている課題について

問 町(内)会活動の中で日頃感じている課題について、あてはまるもの全ての番号に○をつけてください。



### ○調査結果

町(内)会で日頃感じている課題について、最も多かった回答は「役員のなり手が見つからない」(76.2%)で、平成23年度に実施したアンケートの数値(43.3%)と比較して30ポイント以上増加しており、担い手不足が一層深刻化しています。

続いて、「特定の会員しか運営、行事に関わらない」(65.6%)、「活動内容が慣例化している」(43.2%)となり、コミュニティ活動の停滞が課題と言えます。

また、「会議や行事で自由に使える場所がない」(22.4%)は、前回の数値(12.5%)から約10ポイント増加しており、活動場所の確保(集会施設整備)のニーズが高まっています。

【補足】平成23年度調査結果の数値については、設問「コミュニティ活動で困っていること」の数値を使用

## ○その他自由記載欄

### アパート住民の協力

- ・近年空き地にアパートが建つが住人が居留守を使い、町会費やゴミ小屋当番に非協力的である。アパートのオーナーも非協力的で町会としては打つ手が見つからないので、行政の力で何とかならないものだろうか。
- ・町会の未加入が多いのはアパート住人であると同時に、ゴミ出しマナーが悪いのもアパート住人である。
- ・町会費の徴収については、アパート入居者に大きなバラつきがある。
- ・アパート住民は未加入にしている。出入り激しいこと、空室が多いこと。ゴミ持参は普通に行っている。不動産協会等と話し合っ解決して欲しい。(独自でゴミ箱用意しているアパート別)
- ・マンション・アパートの居住者の把握が難しく、町会費の集金に苦労している。20%くらいしか集まらない。
- ・アパートの住人の町会費の未払いに困っている。
- ・アパート、借家については、町会費を減額(月額300円を250円にしている)しているが、町会未加入者が相当数ある。
- ・マンション、アパート入居者状況の把握が困難であり町会費の回収も難しい。
- ・賃貸住宅居住者の出入りが激しく、住民の把握が困難である。

### イベント開催

- ・子供会と高齢者とのジョイントで会合を開きたいが、子供会の人数の少なさと子供会が乗ってこないのが悩み

### ゴミ問題

- ・ゴミの分別等の指導法に手をやいている。
- ・ゴミの分別が徹底されていない。
- ・現在、資源ごみの自主回収に力を入れている。今年の4月から業者の協力により、ペットボトル、鉄屑も範囲に入れ力を入れている。従来の紙、段ボール、空き缶については市のゴミカレンダーで持ってくる人がいるため、自主回収に協力する様子はない。ゴミ小屋で指導している。

### 高齢化

- ・歩行に支障のある高齢者が、どんどん増えている。
- ・高齢者世帯及び高齢者の1人暮らしが増え、これからの町内会及び各団体への運営及び維持そのものが心配される。



## 住民間トラブル

- 従来からの住人（地元）と新規にこの地に転入（開発・新築含む）して来た人の考え方の違いが大きい。転入者が多くなっているのに従来の考え方を押し付けるような言動が多く、町内活動にも口を挟む。

## 活動への参加者

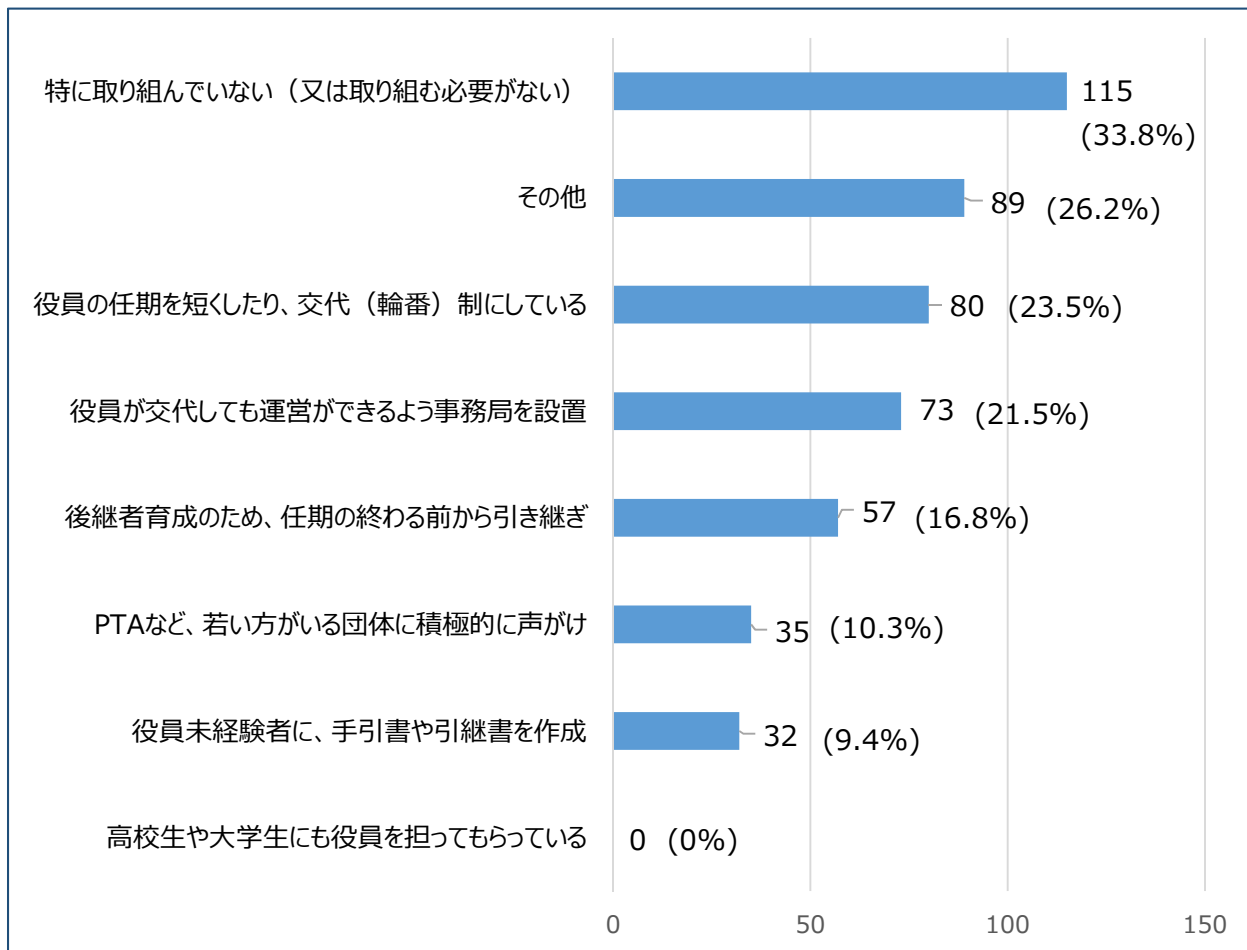
- 行政側からは協力依頼は来るが、市の職員 OB で町内に居住する人は、町会活動に無関心、無関係の立場で参加しない。町会への意識が希薄であると感じている。
- 高齢者の多い町会であり、若い者は勤めており、町内活動には参加しない者が多い。
- 町会活動は高齢者が多く、若年層が少ない。また、パートで働いているお母さん達も多いため、町会活動をするにも苦労している。
- 市営住宅の団地町会だが何か行事をと思っても、ほとんど協力がないため出来ない。年々高齢化している関係もある。
- 老人クラブ、子供会の世話人が無くなり現在休部中である。60～65 才では老人ではないので、老人クラブに入らないため世話をする会長がない。
- 小規模な町会の為、財源及び人材面で苦慮している。よって毎年できることを参加できる人達で実施している。
- 若年世帯は町会活動に無関心である。

## 町(内)会運営

- 町民の中で堪能な方を講師とした研修会的なものを開きたい。
- 一部会員から町会運営にあたり不満が出ている。
- 高齢化と収入不足で消極的な生活を送っている。互助精神が衰退している。
- 世帯の減少（死亡、転居）が急速に進んでいる。
- 町会のあり方等、希望・意見は少ない。
- アパート入居者・幼稚園・商店の町会費未徴収の対応で頭が痛い。
- 生活保護世帯の町会費の取扱いについて悩んでいる。
- 町会費の負担が大きい。1世帯月800円、年間9600円は多い方だと思う。
- 独り世帯の増加で閉じ籠りが目立っている。

### 3 役員等の担い手確保の取組みについて

問 役員・組長等の担い手確保の取組みについて、あてはまるもの全ての番号に○をつけてください。



#### ○調査結果

問2の日頃感じている課題で、最も多い回答となった「役員のみ手が見つからない」（※5ページ参照）に対する取組みについては、「特に取り組んでいない（又は取り組む必要がない）」（33.8%）が最も多い回答となりました。

最も重要なこの問題について、現状では課題解決への取組みが十分にできていない結果となっています。

その他の取組みの回答では、「役員負担の軽減」や「他の団体と連携して活動を行う」ことで担い手を確保するなどがあげられました。

## ○その他自由記載欄

### 活動内容を工夫

- ・役員会の運営や各種行事が会員から共感を受けるようなやり方(やって良かった。私もやってみたい。)をすれば、役員への要請もスムーズに受け入れてもらえる。

### 他団体との連携

- ・他の団体との連携が大事になって来ると思う。
- ・若い頃からボランティア経験者(PTA 役員、子供会、世話人等)が多いので、その方々に声を掛けている。

### 負担軽減

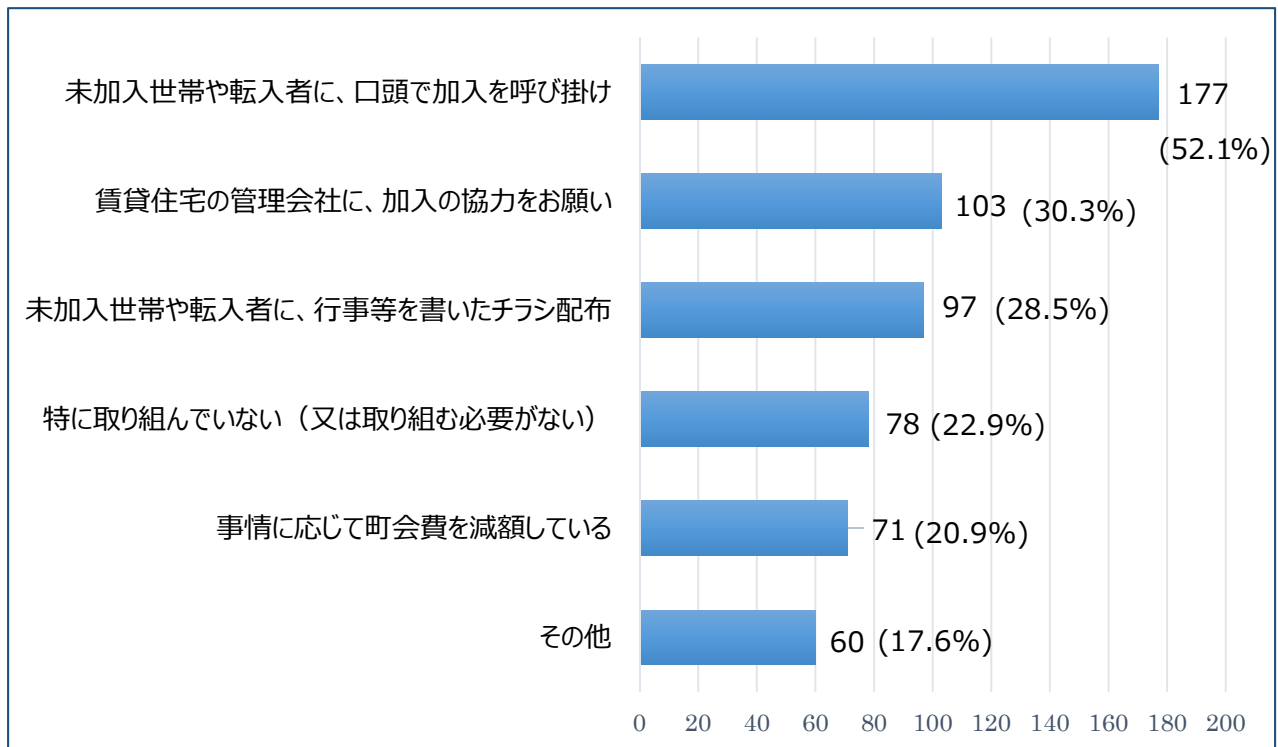
- ・役員に負担をかけないようにしている。
- ・役員の負担を少なくするように担当任務を小分けにしている。
- ・役員の増加
- ・役員への協力員設置
- ・毎月の定例会を2ヶ月に1回とする
- ・1人の担当班を2つとし班員は15名以内とするようにしている

### その他

- ・役員の役割分担表を作成している。
- ・事業部長制度を作った。
- ・町会活動に興味を持ってもらえるように、役員会で何を図り何を決めたか住民に回覧板を通じて説明している。
- ・4つの事業部を設けているが部員が非常に少ないため、それぞれの事業部の行事等については役員全員で取り組んでいる。
- ・適任者がいると思われるが、なかなか人的つながりが出来ない。
- ・町会の総会資料、役員会資料、組長会議資料、イベント実行委員会資料、回覧資料など年度毎にパソコンに記録。USB でいつでも引き継げるようにしている。(町会長が保管)
- ・町会の必要性を機会ある毎に PR する努力をしている。
- ・役員の方々からの役員のなり手に関する情報収集に努めている。

## 4 町(内)会への加入促進の取組みについて

問 町(内)会への加入促進の取組みについて、あてはまるもの全ての番号に○をつけてください。



### ○調査結果

町(内)会への加入促進の取組みについては、「未加入世帯や転入者に、口頭で加入を呼び掛け」（52.1%）が最も多く、続いて「賃貸住宅の管理会社に、加入の協力をお願いしている」（30.3%）、「未加入世帯や転入者に行事や活動内容等を書いたチラシを配布」（28.5%）となっています。

「特に取り組んでいない（又は取り組む必要がない）」（22.9%）も4番目に多い回答となっています。

また、その他の取組みとして「毎戸にごみ袋（30枚）を配付している」や、「企業にも特別会員になってもらっている」といった事例もあげられました。

## ○その他自由記載欄

### 加入者へ記念品配布

- 毎戸へ家庭用ゴミ袋を30枚ずつ毎年配布する等、会員への還付に心掛けている。
- 高齢者へのお祝い、ぴかぴか1年生へのお祝い活動中、万一事故に対する損害保険を掛ける。

### 町会活動をPR

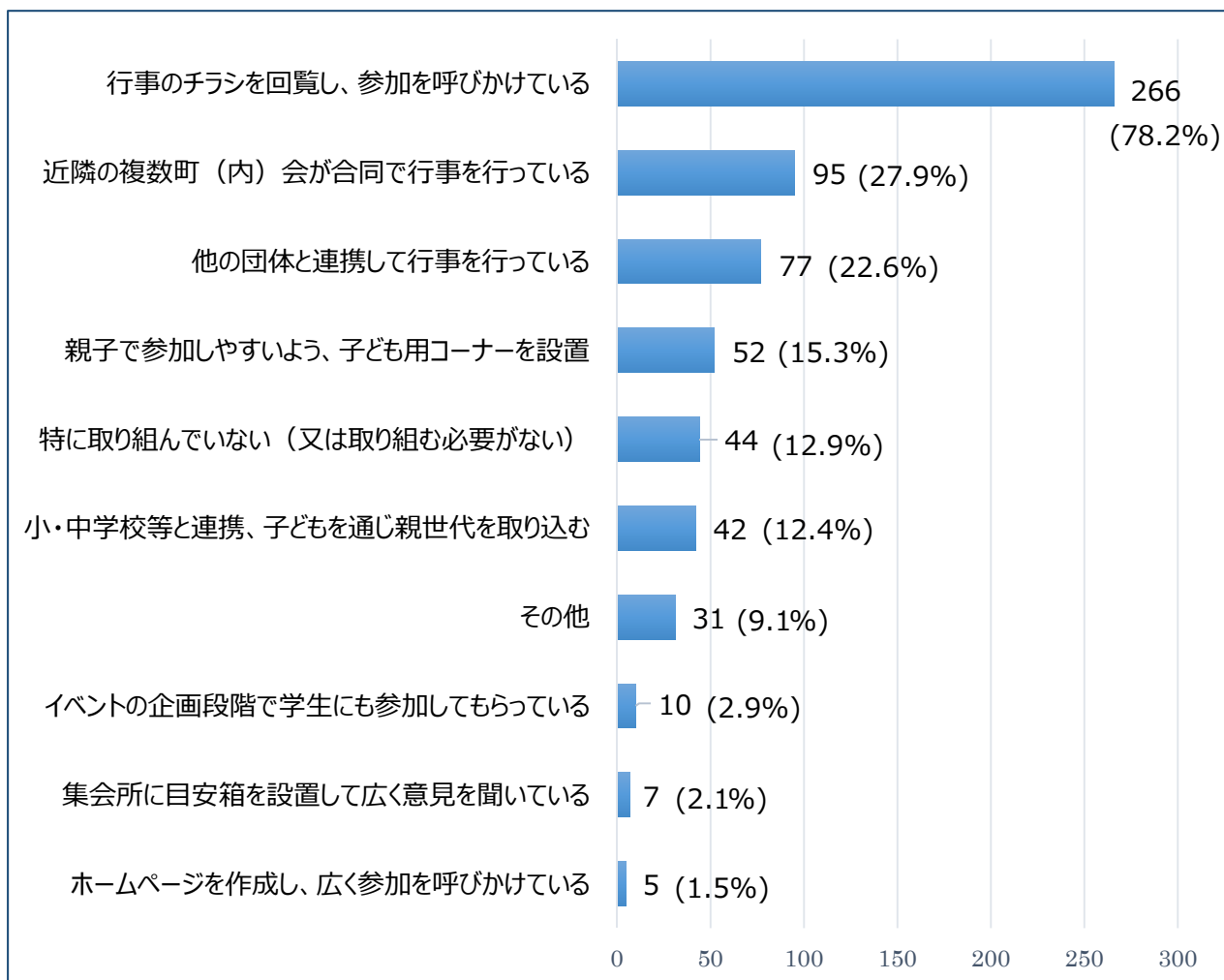
- 新転入者に町会に入るよう町会の世帯票を配り、町会加入を勧めている。ごみ、除排雪、道路側溝の補修を積極的に行っていることを説明し、加入の必要性をPRしている。

### その他

- 私が会長を引き受けてから企業、会社等へ呼び掛けて特別会員になって戴き町会費の納入（一般より高額）やまつりの協賛等に協力して戴いております。町内清掃にも呼び掛けに応じてくれている企業もあります。

## 5 行事への参加者の確保について

問 町(内)会行事の企画・運営や参加者を確保するため行っている取組みについて、あてはまるもの全ての番号に○をつけてください。



### ○調査結果

行事への参加者の確保については、「行事のチラシを回覧し、参加を呼びかけている」が78.2%で最も多く、以下「近隣の複数町(内)会が合同で行事を行っている」(27.9%)、「他の団体と連携して行事を行っている」(22.6%)と続いています。

ホームページを開設し情報発信している町(内)会は5件(1.5%)ありました。

## ○その他自由記載欄

### 他団体と連携

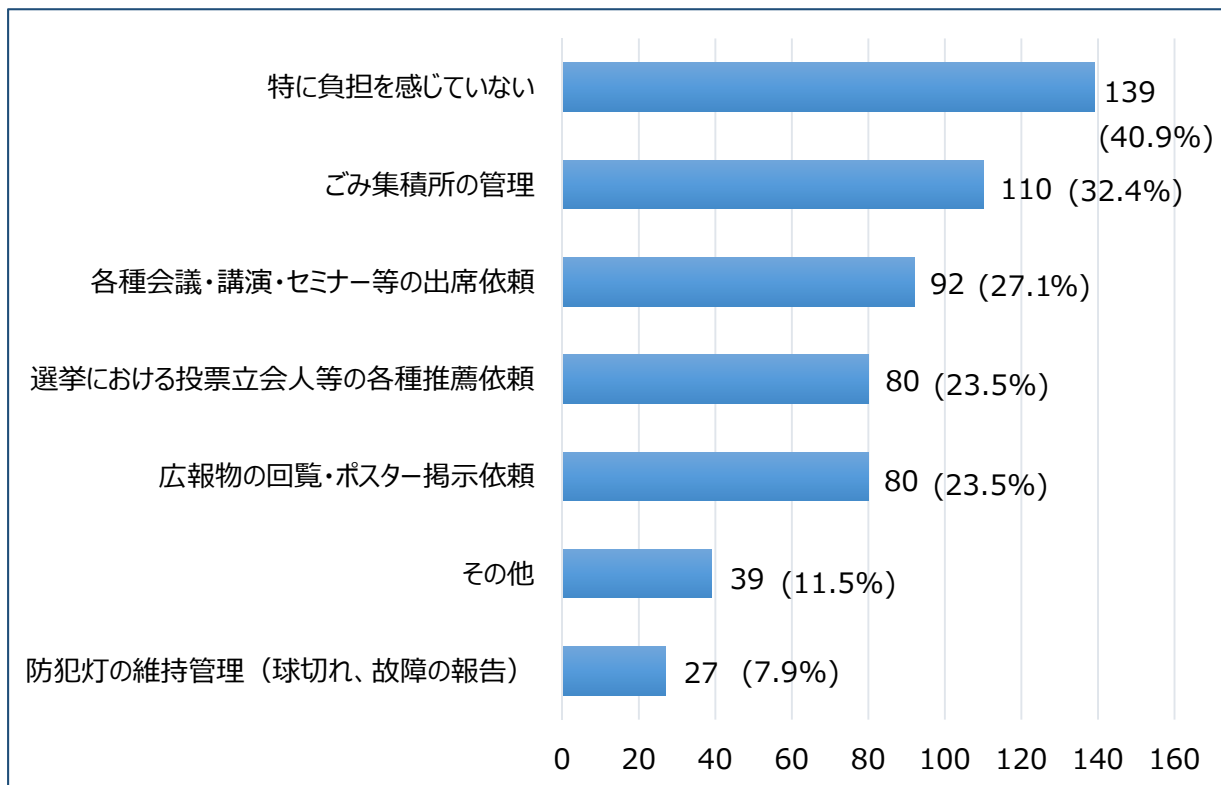
- 近隣町会と合同で行事を行っていた。
- 夏休みラジオ体操は隣の町会と連携している。
- 交通安全パレード（年1回、他町会と合同）を行っている。
- 小、中学校と連携し、校庭での防災訓練（各1回、他町会と合同）
- 町会行事については町内連携団体と共催している。
- 地区連合町会、地区社協と協力して行う行事が多い。
- 近隣の町会と「防火組織」を作る為の話し合いを進めている。
- 女性部を中心に花と野菜を植えましょう。おしゃべり会。お茶会等を行っている。
- 2年ほどまでは、2町会3町会、合同で夏祭りを実施していたが、ここ2年、3年は単独で実施している状態。

### その他

- 子供中心の行事を年2回（春・秋）実施している。
- 内容の充実が大事であり、役員が奔走している。

## 6 市の依頼による負担感について

問 市から町(内)会に対する依頼のうち、特に負担に感じているもの全ての番号に○をつけてください。



### ○調査結果

市の依頼による負担感については、「特に負担を感じていない」(40.9%)が最も多い回答となりました。

負担と感じている項目としては、「ごみ集積所の管理」が32.4%で最も多く、続いて「各種会議等の出席依頼」(27.1%)、「選挙立会人等の各種推薦依頼」(23.5%)、「回覧やポスター掲示依頼」(23.5%)などとなっています。



## ○その他自由記載欄

### 除雪

- ・特に冬期（雪かき不可の老人が増えている）

### その他

- ・高齢者が中心の町会で市からの依頼に応じることは大変である。
- ・町会外からのゴミ持ち込み、マナー悪い。
- ・なんでも全てにおいて、町会の負担が多く感じる。
- ・市からの依頼は町会運営をするために大いに必要です。
- ・防犯灯がLED に変わってから球切れがない。
- ・負担感はない。ある程度、必要があるものが多い。
- ・今回は国勢調査の調査員の募集まで町会長に来ている。
- ・町内にポスター掲示板がない為、ポスターなどの掲示を依頼されても困る。

## 7 空き家の利活用について

問 町(内)会の事務所や住民が集える集会場所として、地域の空き家を活用してみたいと考えますか。あてはまる番号に○をつけてください。

	回答数	選択率
1 条件が整えば活用してみたい	60	17.6%
2 活用したいと思わない	226	66.5%

(※未記入 54 件)

### ○調査結果

空き家の利活用については、「条件が整えば活用してみたい」が 60 件（17.6%）となり、活用方法としては、「集会利用」や「事務所としての活用」のほか、「高齢者支援のための集いの場」、「小・中学生の見守り」などの回答がありました。

### ○活用したいと回答した町(内)会の活用方法

#### 集いの場

- ・スポーツ等、サークルの活動に使用したい。
- ・不定期に集まる趣味の会の開催などに使用したい。
- ・町会にクラブを作ってクラブ活動に使いたい。
- ・老人クラブや子供会活動や集会所として使用したい。
- ・町会内に全く集会施設がないため、各種会合や高齢者の趣味の会等、親睦を図るために気軽に集まれる憩いの場にしたい。
- ・①会議②子供、老人、女性の集い③研修会、講習会等に使用したい。
- ・高齢者や子供達の活動の場として使用したい。
- ・考えてはいるが、空き家を活用するとなると、空き家の状態にもよるが、100万円程度の修繕工事が必要となりそうである。集会所の獲得は長年の課題である。
- ・町会、老人クラブ、女性クラブ等役員会、町会及び各種クラブの活動拠点として使用。具体例：仲良しお茶飲会、手作り教室、各種趣味の会、福祉、防犯、環境教室の実施。町会防災拠点としたい。福祉館は思うように日程が取れず、活動も制限される。

- ・役員会議や親睦会などに使用したい。
- ・町内会議及び親睦会、研修等に活用したい。
- ・1、役員会議 2、住民への説明会・研修会 3、同好会・クラブ・舞踊等に活用したい。
- ・1人暮らしの高齢者や町民が気軽に集まって茶話会等が行われる場所があればと思う。
- ・①町会定例会などの場所に活用したい②高齢者の交流の場所として活用したい③子育て世代の交流の場として活用したい。
- ・町会では集会所が近くにないので、できれば利用したい。
- ・憩いの場、空き地にあずまや、ベンチ程度、公園、散歩者の休憩場所
- ・町会員の諸会合が行える。①婦人方の習い事等。②子供の書道教室等③老人の趣味の会に使用したい。
- ・条件が合えば活用してみたい。当町会には2件の空き家があるため検討してみたい。
- ・市長トークの題材としても要望を上げているが、チョットした茶飲み交流会や役員会等の町会打ち合わせ会、及び絵や鉢植え等の展示会に活用。

### 町会事務所

- ・町会事務所として活用したい。
- ・市民館が遠いので近くに集合場所があれば、会議・打ち合わせができる。事務所としてコピー機、パソコン等が置ける。打ち合わせが頻繁にできる。会員の集まりが多くなる。
- ・町会の役員会議・備品、資材等の保管に活用したい。
- ・会議等の集会に活用したい。
- ・町会事務所（資材置き場、作業所）、町民の会議場所、親睦場所等に使用したい。

### 高齢者支援

- ・市社会福祉協議会で実施しているこころの縁側などに使用したい。
- ・高齢者のたまり場等に活用したい。
- ・高齢者で1人暮らしの世帯が増えているので、こういう人達が集まって話ができるサロンの目的で使用したい。
- ・近くに集会所はあるが、交通量の多い道路を横断しなければならないため、高齢者はどうしても参加しない。

### その他

- ・簡易宿泊所など、町会員の親戚や友人で県外や市外からネプタやその他用事や観光で訪ねてきた場合に安い料金で利用出来るようにしたい。
- ・小、中学生の宿題見守り
- ・コンビニとして活用できないか。

## ○活用したいとは思わない理由

### 別の活動場所を持っている

- 既に市民館があるため。
- 町会内に市民センターがあるから。
- 自宅を活用していて、今は必要と思わない。

### 維持管理に問題

- 集会所の維持管理費の負担が大きい。高齢化、人口減少等で無用であろう。
- かなり老朽化している家が多い。市の空き家にも困っている。
- 管理する人員、予算が必要となるのでは。
- 維持管理への人的、金銭的対応が出来てない。
- 町会の規模が小さく、管理負担が問題。

### 適当な空き家がない

- 町会に適当な空き家の心当たりがない。
- 古く不潔で撤去以外考えられない空き家がほとんど。
- 空き家のほとんどが不動産業者の介入の為、活用できない。
- 活用したくても持主の所在が分からなく対応できない。空き家は小さく考えられない。

### その他

- 維持管理の問題や利用者が特定の者になる恐れもあるので集会場所設置は必要ない。
- メリットがない。
- 中が傷んで入って活動する気がなくなる。
- 事故等に対して責任の所在がはっきりしない。
- 現在、町内会社の2階を借りて、会議を行っているので不自由感じない。
- 管理、運営に難点あり・経済的な問題はさておいても、冬場の雪おろし他・役員の数や高齢化を考えれば難しい。
- 町会の所有地があり、集会所等の建築物がなければ、年間180,000円の固定資産税が徴収されるので集会所建設に傾注している状態である。
- 所有権者と町内会の関係が悪化することが心配。

## 8 市からの支援について

問 町(内)会の活動を行うにあたって、市から新たな支援の必要性を感じていますか。

	回答数	選択率
1 新たな支援の必要性を感じている	109	32.2%
2 現時点では、新たな支援の必要性を感じていない	180	53.1%

(※未記入 51 件)

### ○調査結果

「現時点では、新たな支援の必要性を感じていない」が 53.1%と半数以上を占め、「新たな支援の必要性を感じている」は 32.2%になりました。

必要と感じる支援内容としては、人件費等の運営経費や市民館維持管理費、クリーンボックス設置への補助金の増額などのほか、「空き家対策」、「生きがいづくりのための支援」、「担い手育成の研修会」、「パソコン講習会」などの回答がありました。

○必要だと感じる内容については次のとおりです。

#### 空き家対策

- 空き家については法律の改正が必要だと思う。
- 空き家対策として空き家の活用方法について。

#### 生きがいづくり事業

- 中、高齢者の「生きがいづくり」のため経済的支援（有償ボランティア）

#### 担い手育成の研修会

- 次代の担い手を育てる研修会、講習会を継続的に行ってほしい。

## パソコン講習会

- ・役員の高齢化が進みパソコン等を使えるスタッフ不足。人材確保の為、地域内の高齢者を対象とするパソコン等の講習会もあってほしいと思う。

## 活動場所の確保

- ・事務局、町会の活動拠点となる施設の確保。
- ・サンロード、イトーヨーカドー周辺の町会は市内でも人口密集地である。しかしながら、市民センター機能を持つ施設がこの地域にない。新たな活動と言っても先に拠点施設の整備が必要である。
- ・地域全体（5町会）の行事が行える施設。（市民センター的なもの）
- ・福祉館を廃止することなく、むしろ充実させて欲しい。コピー機等の設置。
- ・旧福祉館を末長く活用できるよう維持管理を継続して欲しい。

## パトロール

- ・私達もお互い注意し何かあれば役所へ連絡しておりますが、担当者が1年に1,2回は徒歩で各町会エリアを町会役員と巡回して欲しい。そして歩道の修理やゴミステーション、街灯、一時停止の標識を設置したほうがよいとかアドバイスをお願いしたい。

## ごみ問題

- ・ゴミ収集場所の確保、収集日のゴミボックスの管理等で金銭面・人員派遣などの支援が必要である。
- ・特にゴミ集積所（しばらくの間）の管理体制の見廻り。監視費負担。
- ・不法投棄の粗大ごみが絶えないので、対応策の指導・助言の情報が欲しい。
- ・クリーンボックスヘルール無視の搬入者がある。町会の監視・指導には限界があるので、市が外部委託した担当者を配置し、適切な指導もしくは条例制定で違反者に反則金を課すなどを実行してもらいたい。
- ・ゴミ置き場のゴミ出し（指導・管理に）に対して、町会の役員だけでなく、市役所の担当課員の直接指導が必要と思う。（全町内域）

## グリーンボックス

- ・資源ゴミ集積所設置小屋の補助金を多くしてほしい。
- ・ゴミボックス等も100%支援でなければ町会では困難。（設置費用も含め）
- ・クリーンボックスが約30基あり、現在サビが目立つものから塗装を行っているが、こういう塗装に新しい支援が欲しい。

## 除雪

- 冬の雪捨て場のない点・除雪車の粗末な片付けといった点。
- (歩道・棟前通路の除雪に対する補助金) 小型除雪機は市より貸し出しを受けておりますが、その他の経費は町会負担ですので、限界が来ております。当町会は市内の市営住宅でも特に積雪が多く、ボランティアの除雪の域を超えている。平成27年5月の入居率は312世帯の入居に対し235世帯(75.3%)60歳以上の高齢世帯は60.5%と高齢者用の団地と言っても過言ではない。歩道・棟前の除雪は高齢者、身体障がい者、精神障がい者にとって介護車両も入れない状態は、住民にとって死活問題でもある。
- 毎冬の除雪対策での除雪機の油代補助年間使用料として3万~4万程。これはコミュニティとは別に検討してもらいたい。
- 町会で単独で所有する地域市民館運営助成金に除排雪経費を加えて欲しい。②灯油代は使用数量に限定(400L)を設けた上に更に助成率1/3では、実費助成率は1/10程度になっている。見直して欲しい。
- 用地としての考えであるが、用地用としての大規模(中規模でも可)の雪捨て場が欲しい。ボランティアで除雪しても排雪出来ない。

## 財政支援

- 財政的支援(理由:町会費が高いとの批判がある。)
- 草刈り、雪、光熱費が町会費で賄うのが難しくなっている。(年金暮らしの人が増えているので、町会費を値上げできないので)
- 市との連絡調整や高齢者と子供達、さらに1人世帯の除雪や声かけ等、色々ありますが、市からの経済的援助や組織作りを期待したい。
- 参加率を毎年高めるため、参加賞を提供したり地域に住んでいる人から有名な人に声をかけて無料で事業に応援するようにしているが、市からの支援(助成金)を増加してほしい。
- 桜まつりや地域ねぶたへの資金援助(地元の商店会が機能していない。商店の減少と後継者不足)
- 町会運営のための自由に使える助成金の創設
- 補助制度利用の場合の補助対象に飲食を加えて頂きたい。
- 町会に対する助成金等を増額して欲しい。(今ある制度の)
- 清掃管理費(年間10万円支出の為)
- 分館の建物管理における手厚い支援
- 資金面の助成を積極的に行っていただきたい。特に地域の融雪装置の推進をしていただきたい。
- 市民館運営について現在も支援してもらっているが、町会会館の管理(点検・保険料・光熱水料・環境維持費)の負担が多い。
- 集会所の運営費等現在1/3から1/2の助成にしないと将来建物の維持が出来ない。
- 市民館運営助成金の従来の助成項目の他に、建築物の定期検査料、消防設備保守点検料等が高額で市民館維持費(30万円超える)が大きな負担になっている。以前は冠婚葬祭での市民館の使用料金で、そ

こそこ賄っていたが、今では業者の施設で実施されることが多いため、一番の収入源が絶たれている状況。

- 小規模町会でも可能な負担額で市民館を建設できるようにしてもらいたい。
- 市から色々な支援及び協力等の依頼がありますが、全てボランティア的な企画・考えは見直し改善して欲しい。
- 市の補助事業に人的手当も含めて欲しい。
- 町会運営の為の基本的経費に係る助成をお願いしたい。いくらボランティアと言っても役員、組長の活動にはそれなりの経費がかかります。町会費収入が減少化しており、事務・通信費・役員手当等助成を検討して欲しい。市民協働推進課で行っている、町会活動助成事業等の点検・見直しをし、これら事業を活用して町会の事務手当・通信費・役員手当等への充当等を検討して欲しい。
- 役員手当に必要な支援を感じている。ちなみに当町会の役員手当は町会長、副町会長、部長は無し。年間会計60000円事務局長24000円情報連絡員24000円×2名。年間132000円です。役員のなり手が無いのは役員手当が無いのも少し影響していると感じている。
- 街灯を3ヶくらい増やして頂きたい。
- チビッコ広場に対する整備等（例えば水道水設置、ベンチ等）
- 私道路のロードミラー設置による助成
- 歩道に面している路肩部分の草刈り作業を町会で実施せざるを得ない状況になっている（市でやらないため）※これらについて市からの金銭的な支援があればありがたい。
- 私道の管理と運営。舗装、側溝の整備と交通量等の安定化に対し、補助金でなく市道並みの取扱いを熱望する。
- 平成27年6月、自主防災会を設立。資機材を収納する倉庫等必要。

## その他

- 依頼数を減らして欲しい。
- 市の連絡等町会を利用することが多いと思う。直接市が行うべきと思う。
- 世帯数が少ないので支援条件が合わない。世帯数が少ない町会に対する支援が欲しい。
- 老人会、婦人会の会合にスクールバス代の援助などできれば。（市内での会合等に。）
- 世帯数の減少が続いており、コンパクトシティー化を推進して欲しい。
- 花壇の植栽の苗等も無料で配布できないか。



## 9 高齢者を対象とした町(内)会活動について

問 高齢者の居場所づくりや、高齢者の生活を支える取組みについて、あてはまるもの全ての番号に○をつけてください。

		回答数	選択率
①	高齢者が集える定期的な活動を行っている	147	43.2%
②	高齢者の生活を支える活動を行っている	99	29.1%
③	特に取り組んでいない（又は取り組む必要がない）	41	12.1%
④	特に取り組んでいないが、必要性は感じている(又は取り組みたいと思っている)	105	30.9%

①と回答した町(内)会で行っている活動内容とその頻度

	体操や運動	会食会	茶話会	趣味活動	その他
回答件数	66	69	55	52	38
週1回	9	1	2	6	2
隔週	7	2	7	3	1
月1回	16	42	28	20	10
年1回	28	13	2	4	13
不定期	12	8	8	12	6

※その他の活動…旅行、花見会などの回答がありました。

## ②と回答した町(内)会で行っている活動内容

活動内容	回答件数	活動内容	回答件数
①見守り・安否確認	76	⑥掃除のお手伝い	4
②外出のお手伝い	2	⑦草とり	24
③買い物のお手伝い	6	⑧声かけ	63
④食事のおすそわけ	7	⑨話し相手	40
⑤ゴミ出しのお手伝い	30	⑩その他の活動	23

※その他の活動…除雪、病院の紹介などの回答がありました。

## ○高齢者が地域で安心して生活していく上で困っていること【自由記載欄】

### 交通

- ・交通（公共）の便がない。
- ・福祉バスがない。
- ・交通の便がない為、この先10年位で不安になる人も出てくるものと思います。
- ・集まりたいが、その会場までに交差点やら交通量が多い為、町会のもっと近くに集会場所があれば。
- ・買い物等の交通機関（バス）の本数 - 午前8：30市内へ1本、午後町会終点午後8時30分～9時頃1本、高校生の帰宅の安心バスをお願い致します。

### 除雪

- ・高齢者世帯で雪片付けが出来ない世帯が出てきている。雪対策委員会を結成（現在15名）道路維持課から除雪機を借りたいが、歩道のみを除雪に限定されるため使えない。これを解除して欲しい。
- ・冬期間の除排雪で玄関前に雪塊が置かれること。重くて片付けられないとのこと。

### ごみ当番

- ・ゴミ出し（資源ゴミ）歩行困難なため
- ・ゴミ出しが困難、特に冬期は不可・輪番制の班長の仕事ができない
- ・町会では、ゴミ収集場所を当番制で輪番で行っているが、高齢者で1人暮らしで掃除が出来ない申し出がありますので、当番から除いております。

- ・以前はクリーンボックス清掃当番、組長の輪番制の高齢者は除外して欲しい。(現在は除外、免除)
- ・クリーンボックスの清掃は当番制をとっているが、作業が出来ない人が増えてきた。組長は、全員は1年交代で担当することになっているが、高齢を理由に辞退する人が増えてきた。

## 安否確認・見守り

- ・1人暮らしの高齢者には、常に民生委員と共同で安否確認している。日常の悩みなどに対応。
- ・1人暮らしの火災予防と孤独死
- ・災害時の避難(1人暮らしの不安が多い)
- ・高齢化と核家族化が進み、高齢者1人・高齢者2人だけの世帯が増加し、急病等の時119番もできない場合、孤独死が生じてしまう。遠くの家族からの電話連絡等、定期便必要なところある。
- ・高齢者が1人暮らしの方でもしも具合が悪くなった場合、身内に連絡したいが連絡先が分からないことを度々耳にします。
- ・高齢で1人暮らしの人から「毎日が不安です。」また「寂しい、病気等の不安、お金の不安」の声があり、少子高齢化問題が多くなっています。民生委員だけでは対応できなくなっています。
- ・町会としては「町会からのお知らせ」で、1人暮らし高齢者を隣近所で見守りなどするよう指導しております。
- ・認知症の傾向ありの人がいるが、民生委員の積極的な活動により生活できている。大いに感謝している。

## その他

- ・民生委員の仕事面での負担が多いように思われる。
- ・1人暮らしの高齢者に対し、なかなか困難な場合があります。今は、出来る範囲内で努力はしております。
- ・元気なうちは近隣との接触を避ける人が多い。
- ・食事の支度や着替えが出来なくなっている高齢者夫婦が入居しやすい、高額でない施設を望みます。
- ・町会長が推薦しているにもかかわらず、民生委員に町会として色々言えない制度なので、協力して高齢者への対応が出来ていない。一体として取り組めるまで行政の規制を緩やかにしてもいいのでは。
- ・民生委員のなり手が無い。老人クラブの加入を勧めているが若い人は入りたがらない。
- ・高齢者支援活動の必要を強く感じているが、スタッフ不足を克服することが難しい状況にある。
- ・当町会では、老人クラブ(約46名加入)があり、活動の助成をして拡大加入参加の呼びかけを行っています。
- ・高齢者を対象とした行事や活動については、特に町会としては取り組んではないが、女性部・老人クラブに助成して行っている。地区社協の催事には全て参加助成している。
- ・高齢者は病気した時と医療選択相談を町会長、民生委員、町会福祉部担当者受けます。
- ・認知症や1人暮らしの高齢者がいるが、施設等への入居も断っている。
- ・入院や施設に入る人は、こっそり入居するから実態は不明の場合が多い。

## 10 子ども会等の活動について

問 町(内)会に子ども会はありますか。または、子どもを対象とした町(内)会活動を行っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

		回答数	選択率
①	ない（又は行っていない）	144	42.4%
②	子ども会がある（又は子どもを対象とした町(内)会活動を行っている）	182	53.5%

子ども会がある（又は子どもを対象とした町(内)会活動を行っている）との回答が182件で、ない（又は行っていない）との回答より、多い結果となりましたが、約4割の町（内）会には子ども会等がない状況となっています。

### ②と回答した町(内)会

#### ②-1 取り組まれている活動等について

活動内容	回答件数	活動内容	回答件数
夏休みのラジオ体操	162	クリスマス会	44
子どもねぶた	49	廃品回収	53
キャンプ	18	活動を休止している	8
スポーツ大会	26	その他の活動	47
町（内）会の祭り参加	91		

夏休みのラジオ体操が162件で最も多く、続いて、町(内)会の祭りへの参加が91件で二番目となりました。

その他の活動では、「公園のゴミ拾いへの参加」や「餅つき大会」、「小学校新入生を迎える会」、「工作教室」などの回答がありました。

- ②-2 現在、子ども会に所属している子どもの人数（又は、活動に参加している子どもの人数）と、活動に携わっている大人（育成者）の人数

参加している子どもの人数	回答件数	育成者の人数	回答件数
10人未満	36	1～5人	62
10～49人	115	6～10人	46
50～99人	15	11～19人	14
100人以上	5	20人以上	17

参加している子どもの人数は10～49人が最も多く、育成者の人数は1～5人が一番多い結果となりました。

- ②-3 「青森市子ども会育成連絡協議会」をご存知ですか。

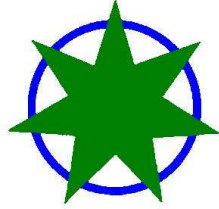
	回答件数
子ども会（又は町(内)会）で加入している	53
知っているが、加入していない	97
知らなかった	54

「知っているが、加入していない」が97件で最も多く、「子ども会（又は町(内)会）で加入している」は53件となりました。

※「知っているが、加入していない」の理由については以下のとおりです。

子どもの数が少ない42件、あまり活動していない19件、

加入のメリットが分からない12件、その他13件、未記入11件



# 青森市民憲章

わたくしたちは、青い空、青い海、青い森にいだかれ、悠久の歴史と香り高い文化と伝統に満ちた青森市の市民です。

わたくしたちは、郷土あおもりを心から愛し、夢と希望にあふれたしあわせなまちとするためこの憲章を定めます。

- 1 自然をたいせつにし  
美しいまちにしましょう
- 1 元気に働き  
活気のある豊かなまちにしましょう
- 1 たがいに助け合い  
あたたかいまちにしましょう
- 1 笑顔でふれあい  
明るく平和なまちにしましょう
- 1 楽しく学び  
いきがいをを感じるまちにしましょう

平成 17 年 4 月 27 日制定

「町(内)会活動・運営に関するアンケート調査結果報告書」

平成27年10月

編集・発行

青森市 市民政策部 市民協働推進課

〒030-8555 青森市中央一丁目22番5号

TEL 017-734-5231 FAX 017-734-5232